

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名	シニアクラブ活動助成事業		担当課	介護福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	年度～
	施策	高齢者福祉の推進		種別	法定+任意
	基本事業	生きがいつくりの機会と社会参加の促進		市民協働	共催
予算科目コード	01-030103-02 補助	根拠法令・条例等	老人福祉法, 老人クラブ活動等事業実施要綱, 老人クラブ等事業運営要綱, 守谷市シニアクラブ助成事業補助金交付要綱		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和37年老人福祉法制定に伴い創設された事業である。市民が高齢期で過ごす時間に生きがいを持ち安心して楽しく充実した生活を送ることが求められている。シニアクラブは地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、国の老人クラブ活動等事業実施要綱に基づき単位シニアクラブ、市シニアクラブ連合会、県老連と連携を図るとともにシニアクラブ等に対する支援に努め、必要に応じて助言指導を行うものとする。	市シニアクラブ連合会の主な事業としては、元気わくわくスポーツ大会、シニアスポーツ大会、研修会等を企画立案し実施する。市の主な役割は、市シニアクラブ連合会及び単位シニアクラブへの補助金支給・各種スポーツ大会・役員会・会長会議・研修会・その他高齢者が生きがいや健康づくり事業などの企画等を支援する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市シニアクラブ連合会及び単位シニアクラブの活動をより一層活性化し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。	
(参考) 基本事業の目指す姿	
仕事や趣味、スポーツ等の生きがいをもつ高齢者を増やす。地域活動などに参加する高齢者を増やす。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
<p>高齢者の生きがいづくりの一助となるようクラブの魅力を配信し、新規会員の獲得を行うことで成果向上が見込まれる。</p> <p>地域に貢献する役割を持つことで、さらに生きがいを持ち、充実した生活を送ることに寄与していくことが期待される。スポーツ大会の実施やスポーツフェスティバルにおける競技種目の指導により、クラブ間交流、世代間交流を図り、シニアクラブの活動の普及啓発を図る。</p>	<p>高齢消費者被害防止キャンペーンを実施し、見守りサポーター養成講座を実施し、76名の見守りサポーターが誕生した。単位シニアクラブ及び各種イベント、守谷駅自由通路での街頭キャンペーンを実施し、シニアクラブ活動の普及啓発を図った。高齢消費者被害防止の見守りによりシニアクラブ会員の詐欺被害を事前に防いだ。</p> <p>シニアスポーツ大会では、保育所園児と一緒に競技を行い、世代間交流及びクラブ間交流を図った。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
総会・役員会参加者数（人）	35.00	78.00	85.00	78.00	78.00
スポーツ大会参加者数（人）	614.00	590.00	589.00	600.00	620.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	シニアクラブの広報活動及び単位シニアクラブのチラシ作成、単位シニアクラブ会員の勧誘による普及啓発により、単位シニアクラブ会員数が増えている。また、高齢消費者被害防止キャンペーン等の新たな事業の実施により会員の意識の向上が図られている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	シニアクラブ会員数の増加に伴い、各種イベントへの参加者数の増加が見込まれる。また、高齢消費者被害防止キャンペーン等の新たな事を展開することにより、シニアクラブの活性化を図っていく。さらに、今後はスポーツ大会運営などに自主的に携わっていく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	1,931	1,868	2,101	2,665	2,665
	国・県支出金	0	0	322	575	575
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	2,090	2,090
	一般財源	1,931	1,868	1,779	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	873.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	3,579	0	0
トータルコスト		1,931	1,868	5,680	2,665	2,665

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	敬老祝金支給事業	担当課	介護福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	昭和43年度～
	施策	高齢者福祉の推進	種別	任意的事務
	基本事業	生きがいづくりの機会と社会参加の促進	市民協働	
予算科目コード	01-030103-06 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>老人福祉法第5条の規定において、老人週間（9月15日～21日）において、敬老意識の高揚と高齢福祉に対する理解を促すことが推奨されている。</p>	<p>高齢者に心から敬意を表し長寿をたたえるため、人生の節目にあたる年齢時に祝金を支給する。</p> <p>（対象年齢・金額）</p> <p>88・99歳：5,000円</p> <p>100歳以上：10,000円</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>高齢の節目を迎えた方々に、長寿の喜びと今後も健康でおられることを感じていただく。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>仕事や趣味、スポーツ等の生きがいをもつ高齢者を増やす。 地域活動などに参加する高齢者を増やす。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
平均寿命，健康寿命ともに伸びを示していることから，支給対象年齢を見直す。	高齢者の増加による経費の増加や事業効果を見直して，対象年齢を縮小した。対象年齢77歳を廃止し88歳，99歳及び100歳以上とした。配布の依頼を協力をいただいている民生委員の負担も軽減した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
支給人数（人）	549.00	571.00	204.00	245.00	245.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	高齢化社会及び健康寿命が進み，年々支出が増加傾向にあり，平成37年前後の団塊の世代が77歳を迎えるにあたって検討が必要であった。 日本人の平均寿命も男女とも80歳を超え77歳が平均寿命以下となる状況であり，長寿とは言えない状況であるため廃止をした。このことにより，効果を考慮し成果は向上しているとする。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	高齢者数の推移を考慮して支給年齢，支給金額の見直しを行う。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	2,790	2,895	1,120	1,375	1,375
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1,375	1,375
	一般財源	2,790	2,895	1,120	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	161.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	660	0	0
トータルコスト		2,790	2,895	1,780	1,375	1,375

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	敬老会開催事業	担当課	介護福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	昭和43年度～平成28年度
	施策	高齢者福祉の推進	種別	任意の事務
	基本事業	生きがいづくりの機会と社会参加の促進	市民協働	実行委員会
予算科目コード	01-030103-07 単独	根拠法令・条例等	老人福祉法第5条	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>長年にわたり社会に貢献されてきた高齢者を敬うため。</p>	<p>開催内容は、敬老会実行委員会において協議・決定する。 招待状の配布は、民生委員の協力をいただく。 前日の会場準備や当日の事務従事は、社会福祉協議会、民生委員、子供ヘルパー、シルバーリハビリ体操指導士会の協力のもと実施する。</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>高齢者の健康維持と生きがいを醸成することにより、健康維持につながる。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>仕事や趣味、スポーツ等の生きがいをもつ高齢者を増やす。 地域活動などに参加する高齢者を増やす。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
身近な地域で高齢者が生き生きと暮らせるよう、高齢者の健康維持と生きがいを醸成することにより健康維持につなげる。	地区敬老会開催に向けて、芸能人の委託を廃止し、シニアクラブ、出前サロン等の団体の出演による手作りの敬老会を実施した。 また、高齢者の詐欺被害防止のために、茨城県警察音楽隊の演奏及び寸劇、取手警察署、守谷市シニアクラブ連合会によるPRを実施した。 また、交通防災課による交通事故防止のPRを実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
式典出席者数（人）	898.00	0.00	798.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	平成27年度は、常総市が関東東北豪雨の影響を大きく受けたことを考慮し、開催を中止した。平成28年度をもって市が開催する行事としては目的を終了したもので、まちづくりのために事業を残すことができたことから成果は向上した。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成29年度以降は、各地区において地域福祉計画実行委員会や自治会等の主催により、敬老者と地域の方のつながりや異世代交流をつくることを目的とした敬老行事を開催する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	2,644	1,465	2,936	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,644	1,465	2,936	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	870.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	3,567	0	0
トータルコスト		2,644	1,465	6,503	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	高年齢者就業機会確保事業	担当課	介護福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成16年度～
	施策	高齢者福祉の推進	種別	任意的事務
	基本事業	生きがいづくりの機会と社会参加の促進	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-030103-08 補助	根拠法令・条例等	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>高年齢者等の雇用の安定等に関する法律において、「国や地方公共団体は、実情に応じて必要な援助、雇用の機会や就業の機会の確保等を図るために必要な施策を推進するように努めなければならない。」と定められている。</p>	<p>シルバー人材センターの事業運営に要する一部費用を補助金として交付する。</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>シルバー人材センターは、60歳以上の高齢者の労働能力や技能を活用し、地域社会に密着した短期的な就業の機会を提供している。シルバー人材センター事業の円滑な推進により、高年齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会への参加を図る。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>仕事や趣味、スポーツ等の生きがいをもつ高齢者を増やす。 地域活動などに参加する高齢者を増やす。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>改善内容（課題解決に向けた解決策）</p>	
<p>次年度のコストの方向性（→その理由）</p> <p><input type="checkbox"/>増加 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>削減</p>	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
高齢者の増加により、様々なニーズが見込まれるため、見守りや生活支援等の事業展開が見込まれる。	対応できる事業は限られているが、利用される方の要望に出来る限り対応するよう努めるように指導した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
就業延人数（人）	42,924.00	42,304.00	41,057.00	41,057.00	41,057.00
就業実人数（人）	355.00	355.00	325.00	325.00	325.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	事業の円滑な推進により、働く意欲がある高齢者の生きがいの充実と社会参加を図ることが出来る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	自立した健全な運営を継続するよう指導する。				

コストの推移					
項目	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	3,100	3,100	3,100	3,100
	国・県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	3,100
	一般財源	3,100	3,100	3,100	0
正職員人工数（時間数）	0.00	0.00	14.00	0.00	0.00
正職員人件費	0	0	57	0	0
トータルコスト	3,100	3,100	3,157	3,100	3,100

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名	いきいきプラザげんき館施設維持管理事業		担当課	介護福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成12年度～
	施策	高齢者福祉の推進		種別	任意的事務
	基本事業	生きがいつくりの機会と社会参加の促進		市民協働	
予算科目コード	01-030103-10 単独	根拠法令・条例等	守谷市いきいきプラザ・げんき館の設置及び管理に関する条例		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
高齢者の生きがいつくりの機会と社会参加促進のための介護予防施設の拠点となる「いきいきプラザ・げんき館」を設置した。	施設の長寿化を図るため、メンテナンスを定期的に行い、効率的な維持管理を継続する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
適切な施設の維持管理を行い、利用者に安全と快適な環境を提供する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
仕事や趣味、スポーツ等の生きがいをもつ高齢者を増やす。 地域活動などに参加する高齢者を増やす。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
適切に管理しており、事故等の問題は生じなかった。	施設の老朽化を見据えた適切な管理を行う。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
施設の不具合での事故発生件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	施設の効率的な維持管理を継続する。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成29年度は、エレベーターの改修工事を実施する。数年後は、老朽化による外壁の塗装、水回りなどの修繕やエアコン空調設備等の点検の必要性があるため、計画的に修繕を行う。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	2,386	2,393	2,253	3,256	3,256
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	3,256	3,256
	一般財源	2,386	2,393	2,253	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	17.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	70	0	0
トータルコスト		2,386	2,393	2,323	3,256	3,256

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	出前サロン活動支援事業		担当課	介護福祉課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	高齢者福祉の推進	種別	任意的事務
	基本事業	生きがいつくりの機会と社会参加の促進	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-030103-13 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
高齢者の孤立や引きこもりを防ぐことを目的に、介護予防施策の拠点として平成12年から身近で歩いて行ける場所に出前サロンを開設している。	地区公民館・集会所・自治会館・学校の余裕教室などを利用して、運営ボランティアにより、お茶飲み・音楽・体操・趣味などの活動を行い、地域社会での高齢者同士のつながりを深める。サロンの開館時は自由に参加できる。開催数：毎週1回～月2回程度 開設時間：原則午前10時～午後3時（但し、サロンによって異なる）費用：原則無料（但し、市施設以外の施設使用料、材料費等の自己負担有）
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
高齢者の生きがいつくりの機会と社会参加の促進を目的とする。高齢者が地域において趣味の活動や仲間との交流を行うことにより生き生きと暮らせる社会となり、出前サロンの開催箇所の増加により介護予防施策の拠点が増え、高齢者が孤立しない状態になることが期待される。	
（参考）基本事業の目指す姿	
仕事や趣味、スポーツ等の生きがいをもつ高齢者を増やす。地域活動などに参加する高齢者を増やす。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
地域の中でいきいきと暮らせる高齢者を増やす。	新規サロンの増加。 スマイル、健康サロン、東板戸井サロンの3箇所が新規サロンとして開設した。 視察研修を合同研修にすることにより、サロン間の交流が図られ、バス使用の削減を図た。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
参加人数（人）	781.00	944.00	1,113.00	1,150.00	1,200.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	サロン設置は、平成28年度にも増えていることから今後も増加が見込まれている。歩いて行ける身近な場所にサロンが開設されることで、高齢者の外出の機会を作ることができ、また、サロン等で実施しているシルバーリハビリ体操等により介護予防が図られている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	リーダー研修や研修会を行い人材育成を図り、質の高い継続したサロンづくりを行う。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	911	995	879	1,432	1,432
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1,432	1,432
	一般財源	911	995	879	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	512.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	2,099	0	0
トータルコスト		911	995	2,978	1,432	1,432